

クリストファー・フィールド

同時・逐次の技術・一般通訳、公認翻訳者



Wayland, MA 01778 USA

TEL.617-905-6060 Eメール: cfinterpreting@gmail.com www.christopherfield.com

職歴

1993年より 通訳・翻訳家 ニューヨーク、ケンブリッジ、ウェーランド（マサチューセッツ州）にて

エレクトロニクス、機械工学、製薬などの科学技術分野を中心に、日英間の翻訳および通訳を実施。

特許訴訟、ビジネス交渉、外交、共同開発、投資家向け広報活動、文化、政治、ビジネス界のリーダーによるスピーチなどの経験豊富。

最近の仕事には、核燃料の安全性、論理回路設計、特殊印刷機械、麻薬・武器密輸事件の刑事答弁、徐放性製薬技術、ボストン美術館日本展の三井住職による奉納、抗がん剤開発、手術器具、核格納容器、ステンレスパイプの金属疲労、高圧蒸気タービンの故障における電子顕微鏡写、透明フィラメントLED（ノーベル賞受賞者の中村修二氏）、ビデオゲームソフト、電気自動車用バッテリーセパレーターフィルム、高アスペリティ比の撮像装置、絶滅危惧種の密輸、NANDフラッシュメモリ、風力タービン、ハイブリッド自動車技術。

1996-2005:フリーランスのテレビプロデューサー（マサチューセッツ州ケンブリッジをベースとして）

NHKスペシャルシリーズで放送される科学ドキュメンタリーのリサーチ、取材を務める。テーマは、脳生理学とうつ病、ロボット工学、マーズ・パスファインダー・ミッションと関連する惑星科学、北極圏の生態学と気候変動、北朝鮮の兵器開発、小惑星の地球との衝突、宇宙の化学進化など。

1988-1993:フジテレビキャスター／特派員（ニューヨーク、東京）

日本のゴールデンタイムと朝のニュース放送で、速報を伝え、アメリカの視点を提供するスタジオ解説を毎日担当。2度の大統領選挙キャンペーンを取材し、ビル・クリントン、ジェラルド・フォード、ヘンリー・キッシンジャーなど、数多くの著名なアメリカ人に"本音を語インタビューした。読売テレビの評論家からは稀有なジャーナリスト"と評された。

1983-1986:マーケティング、テラデザイン社（マサチューセッツ州ボストン）

米国製ハイエンド（100万ドル級の）電子試験装置を日本の電子機器メーカーに販売。富士通、三菱重工業、NEC、日本IBM等に販売。

1980-1981:フジテック営業部（ニューヨーク）

大阪のエレベーター・メーカーと、総額1,400万ドルの米国初契約を獲得。

学歴

1981-1982年：ハーバード大学（マサチューセッツ州ケンブリッジ）

アナログおよびデジタル・エレクトロニクスの大学院コース。

1975-1980年：ハーバード大学（マサチューセッツ州ケンブリッジ）

東アジア研究学科、学士号（優等）。日本語と日本近現代史を専攻。

1977-1978:スタンフォード・センター、東京

東京のスタンフォードセンターで、学者・研究者を対象に1年間の集中上級日本語研修。30名のクラスで首席で卒業。

認定等

米国翻訳者協会（ATA）で日英翻訳認定。国務省認定同時通訳者。米国連邦裁判所認定通訳者。